



まちぶら NEXT 交流会

結果報告書



令和6年5月

1. まちぶら NEXT 交流会の概要

1-1.実施概要

①目的

まちなかエリアで切れ目なく賑わいを創出していくための方策について、官民連携して検討していくため、創造的な交流イベントを開催しました。

- ・認定事業者やイベンターの要望事項の把握。
- ・認定事業者間やイベンターの協働促進
- ・まちぶらプロジェクトに関わる新たなプレイヤーの発掘など

②参加者

展示会…どなた様でも自由に見学いただけます。

相談会…先着数団体限定（1団体2名まで）

講座＆ワークショップ…先着40名（1団体2名まで）

当日は、34名のワークショップ参加者と13名の当日参加者(オブザーバー含)に参加していただきました。

③開催日時と場所

【開催日時】令和5年10月8日（水）16時30分～20時

【開催場所】長崎市役所2階多目的スペース（長崎市魚の町4-1）

1-2.当日の進め方

当日のプログラム

<第1部> 16:30~18:00/展示会&相談会

希望する各団体の活動内容についてパネルや資料などを展示しました。また、予約制でゲスト講師を交えての「活動に関する相談会（1組 30分程度）」を行いました。

<第2部> 18:00~20:00/講座&ワークショップ（入場無料）

まちなか事業推進室より「まちぶらプロジェクトの説明・認定事業者へのお知らせ」を行い、その後ゲスト講師による講座を行いました。次にグループに分かれ、まちぶらプロジェクトの今後に向けたワークショップを行いました。



2. まちぶらプロジェクト認定事業の皆様へのお知らせ

○レンタルテントはじめました！

縦 2.5m 横 2.5mのテント、2 基を認定事業に無料でお貸します。

ご予約は、まちなか事業推進室まで！



○まちぶら広場がリニューアルオープンしました！

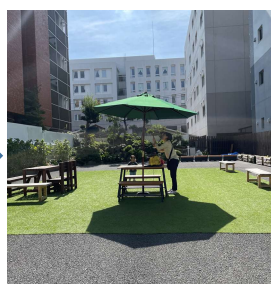
諏訪小学校裏の「まちぶら広場」を憩いの場に。普段使いにも◎

お散歩の休憩（無料）や、イベント会場として、ぜひご利用ください。

Before



After



○情報発信を活用しませんか？

長崎市の公式 LINE を使って約 2 万人の LINE 登録者に

一気に情報発信！チラシデータ等と一緒にご提供ください！



市役所 19 階展望スペースで認定事業を紹介！

チラシはあっという間になくなるほど人気です。



○庁舎前広場を活用しませんか？

平日・休日 午前 9 時～午後 9 時 30 分

認定事業の利用窓口はまちなか事業推進室です！



○銅座川プロムナード整備用地を活用しませんか？

銅座川プロムナードは、交通の整序化に合わせ、広幅員の歩道を持たせ、その利活用により地域の賑わいを向上させることも整備目的の一つとしており、すでに取得した道路用地において、商店街等の団体に、地域の活性化につながる様々な取り組みを実験的に実施してもらい、その成果をプロムナードの整備と整備後に活かすこととしています。ご相談はまちなか事業推進室まで！



3. ゲスト講師による講座について

木藤 亮太氏

株式会社ホーホウ代表取締役

株式会社油津応援団代表取締役

株式会社バトンタッチ代表取締役

地域間連携推進機構株式会社取締役

株式会社 4WD 代表取締役

宮崎県日南市油津商店街の再生に取組み、
約4年で25を超える新規出店等を実現。



山下 裕子氏

ひと・ネットワーククリエイター／広場ニスト。

様々な地域のまちなか広場づくりに地元の
伴走者的立ち位置で活動中。



講座概要

【油津商店街再生事業について】

宮崎県日南市が実施した全国公募で選ばれ、2013年7月より“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取組み、約4年で25を超える新規出店、企業誘致等を実現。「商店街の課題」を解決するのではなく「若者が離れ、活力を失っていく地方都市の課題」を解決していくことに重点を置き、若者の「チャレンジを応援するまち」を描くこと。カフェや屋台村を起点にIT関連企業のオフィスや大学生が営むゲストハウス、保育園、子育て支援施設などかつて商店街になかった機能が並ぶ、新しい商店街の姿が見えてきた。



4. ワークショップの概要

4-1.目的

- ①まちなかの賑わいづくりに取り組む（今後取り組みたい）民間団体等の交流・協働の促進
- ②民間団体等がまちなかの賑わいづくりに取り組むにあたり、市からの支援に関するニーズの把握

4-2.テーマ

テーブル①：まちなかの資源（歴史文化や公共空間など）磨き

テーブル②－ 1、②－ 2：まちなかを回遊する仕掛けづくり

テーブル③：まちなかでみんなが繋がる仕組みづくり

テーブル④－ 1、④－ 2：まちなかの魅力の発信

4-3.プログラム（ワールドカフェ形式）

- ①前半：今座っているテーブルで意見交換（20 分）
 - ②後半：他のテーマのテーブルに席替えして意見交換（20 分）
- ※市職員は前半に出た意見・アイデアを説明

4-4.グランドルール

- ①各テーブルの市職員が司会進行をやります。（模造紙に書いたり、貼ったりするのをお手伝い大歓迎）
- ②まずは付箋にアイデアや意見書きましょう！（書かないと後に残りません）
- ③時間に限りがあるので、一人が長くお話するのは避けましょう！（簡潔をお願いします）
- ④多様な意見を尊重しましょう！（否定はしない）
- ⑤面白い意見・アイデアにはどんどん乗っかりましょう！（ここが楽しいです）

4-5.付箋の種類

- ①赤：あなたの団体等でいま取り組んでいること（〇〇のイベント、清掃活動など）
- ②黄：あなたの団体等でこれから取り組んでみたいこと（〇〇のイベント、清掃活動など）
- ③青：行政にやってほしいこと（〇〇のサポート、市の窓口の一本化、情報発信など）
- ④緑：その他（他の団体にやって欲しい企画やアイデアなど）

★ワークショップの展開例

〇〇エリアにおける清掃×音楽イベントの開催について

A さんがいま取り組んでいること（例：まちなかエリアの清掃活動）

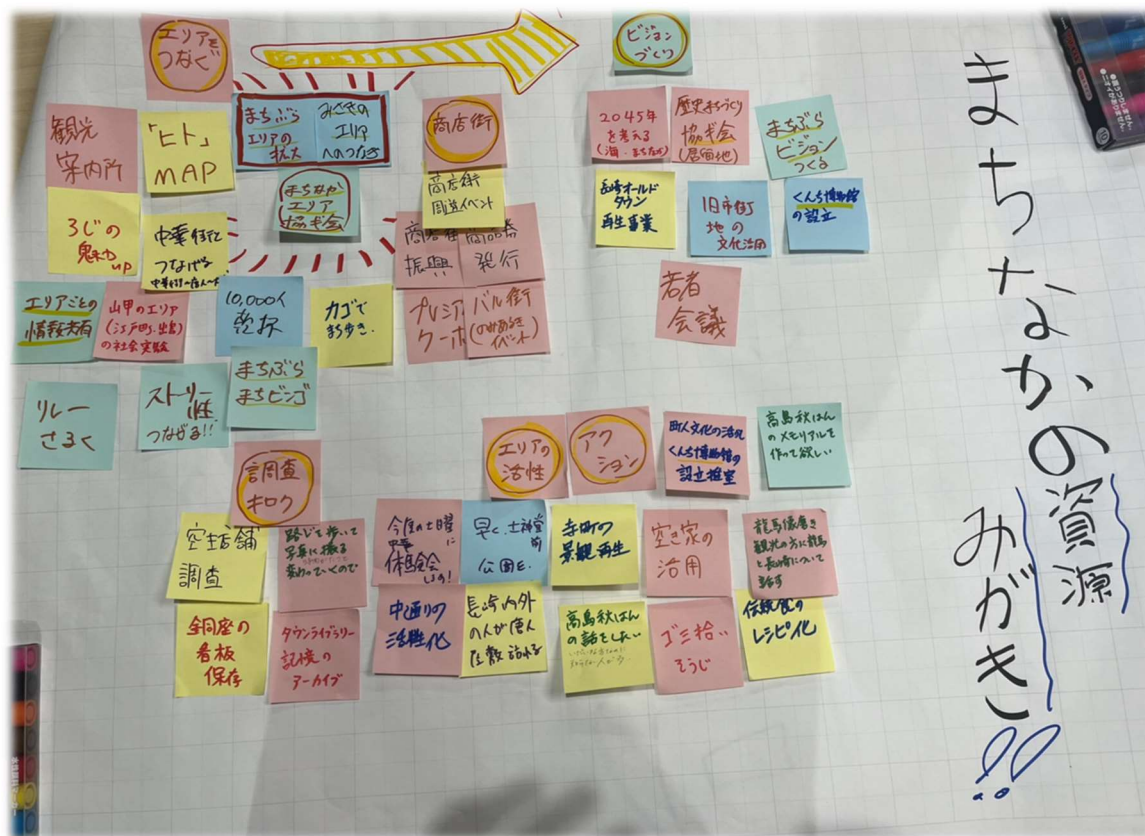
A さんの話を聞いて B さんが今後取り組みたいこと（例：清掃活動＋音楽）

行政にやって欲しいこと（例：活動で使用する広場等の情報提供・関係所属との調整）

さらに C さんのアイデア（音楽好きの若者が集まる〇〇エリアでやってはどうか？）

5. ワークショップの結果

テーブル①：まちなかの資源（歴史文化や公共空間など） 磨き



○出た意見（抜粋）

今、取り組んでいること	★キーワード
HUBs Ishibashi(長崎居留地のネオ観光案内所)	エリアを繋ぐ
岬のエリア(江戸町・出島)での社会実験	
商店街振興・商品券発行	商店街
BAR-GAI(長崎居留地での飲み歩きイベント)	
長崎居留地プレミアムクーポンの発行	
ながさき若者会議への参加	ビジョンづくり
2045 年を考える(海・まちなか)	
長崎居留地歴史まちづくり協議会	
路地を歩いて写真に撮る	調査・記録
タウンライブラリー(町に関わってきた人の話を聞いて目に見えない記憶を集めるイベント)	
中通り商店街の活性化	エリアの活性化
くんち博物館の設立推進	アクション
空き家の活用(つくる邸)	
龍馬像磨き(観光の方に龍馬と長崎については話す)	
ゴミ拾い・掃除	
今後、取り組みたいこと	★キーワード
路地の魅力 UP	エリアを繋ぐ
「ヒト」MAP(地域の魅力的な人を紹介する MAP)	
中華街と繋げる(他の事業と長崎新地中華街を繋げたい)	
商店街周遊イベント	商店街
長崎オールドタウン再生事業	ビジョンづくり
銅座にある看板の保存	調査・記録
長崎内外の人が唐人屋敷訪れる	エリアの活性化
寺町の景観再生	アクション
高島秋帆の話をしたい	
伝統食のレシピ化	
行政にやってほしいこと	
まちぶらエリアの拡大(岬のエリアを追加してほしい)	
まちなかエリア協議会(まちなかエリア全体の協議会の設立)	
10,000 人乾杯(時刻を決めてみんなで乾杯をする)	
エリアごとの情報共有	
リレーさるく(各エリアをめぐるさるくを実施してほしい)	
まちぶら まちビンゴ(各エリアごとをめぐるビンゴを実施してほしい)	
土神堂前に公園を作してほしい	
まちぶらビジョンをつくる	

テーブル②－ 1、②－ 2：まちなかを回遊する仕掛けづくり



○出た意見（抜粋）

今、取り組んでいること	★キーワード
女子目線のさるく	エリアを繋ぐ
観光音声ガイド付き民話絵本	
サステナブルツーリズムな仕組みづくり	
30 年前作った本と比べて展示する	調査・記録
建物の魅力再発見	
中国茶体験・太極拳体験・中国音楽の発表・シャッターアート	エリアの活性化
出島宵市	
橋の拭き掃除	
新大工町商店街でイベント	
洋館と桜を楽しめるさるくコース	
松ヶ枝公園 クリスマスイルミネーション	
まちぶら広場の活用	
長崎居留地まつり	
諏訪っ子くんちの指導	
路上観察のレクチャーをしながらまち歩き	アクション
月 1 回のまち歩き	
長崎居留地男声合唱団 まちのために歌う	
みんなの食堂(食料品や日用品を無料で配布)	
月 1 回の夜回り ゴミ拾い	
色々な場所でヨガをする	
OTAKUSA まつり+ 「ながさきの何かいい！」の facebook での発信	情報発信
今後、取り組みたいこと	★キーワード
OTAKUSA まつり期間にマップや他の地域に人を流したい	エリアを繋ぐ
まちなか 5 エリアのフィールドソング作成	
唐人屋敷跡四堂の案内人の育成	エリアの活性化
新大工～山手 まちビンゴ・まちさるくリレー	
アートなまち ファッションウィーク	
銭湯をつくりたい	アクション
全国朝ヨガ協会を作る	
ガストロノミーツーリズム(食文化を体験するツーリズム)	
マニア向けの専門家ツアー	
ソーシャルマラソン(走ることを通して人と人がつながる仕組み)	
マネタイズ屋台	
車の制限・自転車の活用	その他

新しいアイデア（やってほしいこと）	★キーワード
ナイトツアーの開催	エリアを繋ぐ
路面電車の活用(移動手段以外の使い方を)	アクション
アルキメデスを活用してください	
九州 Memo のぐるめぐり～まちなか編～(SNS を使った発信)	
車椅子でもいける観光ルート	
毎月ナイトマーケットをしてほしい	
劇場をつくりたい	
行政にやってほしいこと	
レトロバスほしい	
斜面を楽しく登るものが欲しい	
課題・問題の引継ぎ	
もっと斜面を大切に	
市の窓口の一本化	
イベントの参加	
花男子図鑑 part2(長崎で活躍している男性を花と絡めて紹介)	
市の「井戸端会議」の投稿フォームを見直して	
面白い人図鑑	
楽しい道・楽しい公園づくり	
子供を巻き込む	
細い道の自動車の規制	
デザイン性・機能性	
出島もまちなかエリアに入れてください	
「まち」の境界線を消す。（エリアって意味ある？）	
くunch資料館をまちなかにつくってほしい	
公共空間の一括管理	
道路使用許可申請をもっと簡単にしてほしい	
広場やベンチでゆっくりしたい	
年中くunchを感じられる何か	

テーブル③：まちなかでみんなが繋がる仕組みづくり



○出た意見（抜粋）

今、取り組んでいること	★キーワード
マルシェなどイベントの企画・運営	イベント
カフェの運営	
ものづくり教室	
ウォーキングイベントの企画・運営	
行政コミュニティホールにおける企画・展示アドバイザー	
googoo マルシェ 500 店の作家さんと街をつなげる	
新幹線イベント	
高校生のイベントの参加	
大人の学校 作家さんと地元の人をつなげる	人を繋げる
産直市場の運営 農家さんと繋げる	
文房具の学割	場を繋ぐ
つくり手の流通拠点	
おくんち みこし守り お手伝い	
SNS で長崎の魅力を発信	情報発信
にたさこコミュニティ広報活動（広報誌と Instagram）	
食文化の発信	
KOGANE 一次産業と二次産業をつなげる	
頂プロジェクト 1 次産業と 3 次産業をつなげる	
保育士養成	その他
コミュニティスペースの運営	
JR 長与駅の運営	
今後、取り組みたいこと	★キーワード
飲食×音楽を組み合わせたイベント	イベント
地元に密着したイベントをやる	
地元の人から愛されるイベントを定期開催したい	
県下全域での「頂」プロジェクト(食の発信イベント)	
駅ロータリーにおけるマルシェの企画・運営	
音楽系のイベント	
イベントに参加するとポイントが貯めて使える地域通貨	エリアの活性化
オンラインのオフメタバースコミュニティ聖地を作って認知を高める	
まちのマッチングアプリ(エリア同士をつなげる)	エリアを繋ぐ
生産者と消費者の交流	人を繋ぐ
隠れた特産品の発掘	場を繋ぐ
企業とコラボしたバスの乗車券	

長崎のひろめ市場（ひろめ市場：高知市帯広町にある屋台村）	
食育活動	情報発信
長崎の情報発信	
修学旅行商品開発	その他
空き家を一時保護児童のショートステイの場所に	
新しいアイデア（やってほしいこと）	★キーワード
交流会を開催してほしい	人を繋ぐ
情報発信	情報発信
SNS 等の情報発信の仕方がわからない	
人手不足	その他
お金がいる	
行政にやってほしいこと	
若い人やインスタグラマーが欲しい	
新しい担い手がいらない	
行政と銀行が連携をしてほしい	

テーブル④－１、④－２：まちなかの魅力の発信



○出た意見（抜粋）

今、取り組んでいること	★キーワード
SNS での情報発信	SNS・Web
OTAKUSA まつり+「長崎のなんかいい！」の facebook での発信	
SNS での長崎の情報・楽しさの発信	
YouTube で長崎の魅力を発信	
地域カレンダー（居留地）の作成	エリアの活性化
地域の掲示板の更新	
女子さるく	
斜面地で畑を作っている	
ごほうび MAP の作成	紙媒体
ひめくりカレンダーの作成	
リアルイベント 学校・地域へチラシを配布	
古くからのお店巡り	イベント
座談会・交流会	
非日常のゲームイベント	
古民家や団地で長崎や昭和レトロテーマのイベント	
歴史講話会	
移住者向け長崎弁講座	
イベントを通じた洋館活用の発信	その他
長崎バス・電車の利用	
文化財の保護・活用	
クラウドファンディング	
アルキメデスの活用	
くんち博物館の設立推進	
今後、取り組みたいこと	★キーワード
市の公式 LINE・HP を活用したい	SNS・Web
web でイベントカレンダー	
地元のお店のこだわり・思いを聞く（YouTube で）	
SNS を用いた海外の方向けの長崎情報発信	
商店街のお店とのコラボ商品をつくる	エリアの活性化
観光案内もできる活動拠点を作りたい	
まちなかときどき新聞（まちなかの情報を新聞形式で発信）を作りたい	紙媒体
地域の古い記憶を集めた本（zin）を作りたい	
人物図鑑（地域の魅力的な人を紹介する図鑑）	
自分のイベントを地域の掲示板に載せたい	

コミュニティFMを活用したい	メディア
テレビ・ラジオを使ってイベント等の情報を発信したい	
朝ドラ・大河ドラマ×まちなかのコラボ	
地域の学校などと連携	地域との連携
中通りで乾杯	イベント
ドローンを使用し、空からまちを見たい	その他
絵本やミュージカルで長崎（まちなか）の物語を再現したい	
メタバースに長崎の再現ワールド 聖地化	
全国・世界からの評価	
OTAKUSA まつり+の期間に他のまちなかエリアに人が流れる発信がしたい	
新しいアイデア（やってほしいこと）	★キーワード
江戸町・県庁跡地 小さな記憶を掘り起こして繋ぐ	エリアの活性化
東山手洋館活用	エリアの資源
市内に居住する外国人と市民が交流できるイベント	イベント
長崎ミュージカル 芸術の町	
長崎 歌の祭典	
移住者との交流	
まちなか博物館	その他
アルキメデスを使って何かしてほしい	
行政にやってほしいこと	
市保有の文化財や建物に関して撮影申請をなしに	
わかりやすい資料を作してほしい	
市の部署間をつないでほしい	
気軽に相談できる雰囲気があるといい	
これまでのまちなかの範囲から拡大	
つながるしくみづくり（まちのコイン・ポイント）	
県外での長崎 PR 展	
都市部での情報拠点づくり	
まちづくり団体のメンバー募集の要綱をまとめたサイト	
移住サポートのコンテンツ	
市職員のまちあるきガイド	
活動者とインスタグラマーを繋げて情報発信の手法を教えてほしい	
朝ドラ・大河ドラマの誘致活動	

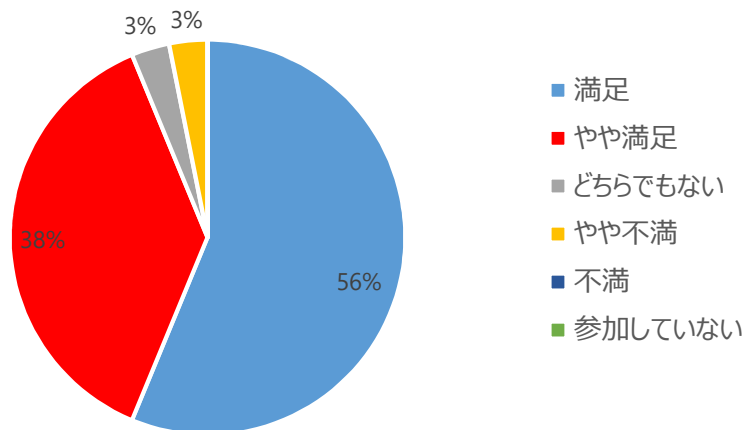
6. アンケート結果

大変貴重な多くのご意見、感想をありがとうございました。

ワークショップの意見だけでなく、アンケートの感想についても今後の市政に役立てていきます。

【回答者数：34 名】

問1 交流会全体の満足度



○いただいたご意見（抜粋）

新しいアイデアがわいた。

色々な意見や参考になる事業・取り組みを聞くことができた。

色々な人たちとの交流が生まれてよかった。

様々な意見を聞くことができた。

実際に活動している方々との交流は非常におもしろい。

もう少し、同じテーブルの方と話す時間があるとよかった。

時間が足りない。

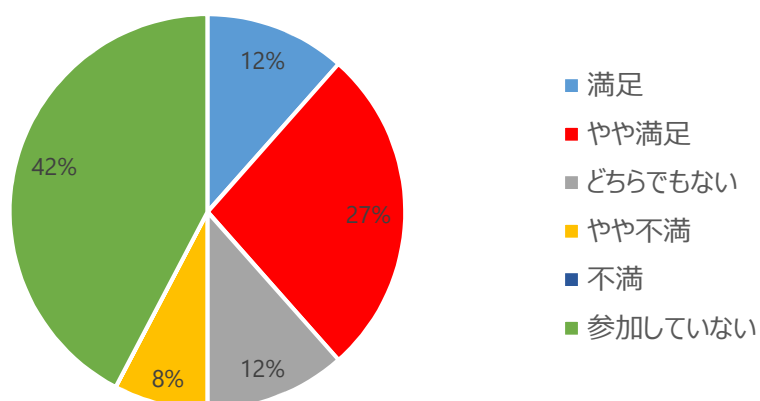
いろいろな活動をされている方と交流できて面白かったです。

久しぶりにまちなかを感じました。

参加者同士が交流するタイミングが少なかった。

木藤さんや参加者のいろいろな話が聞けた。

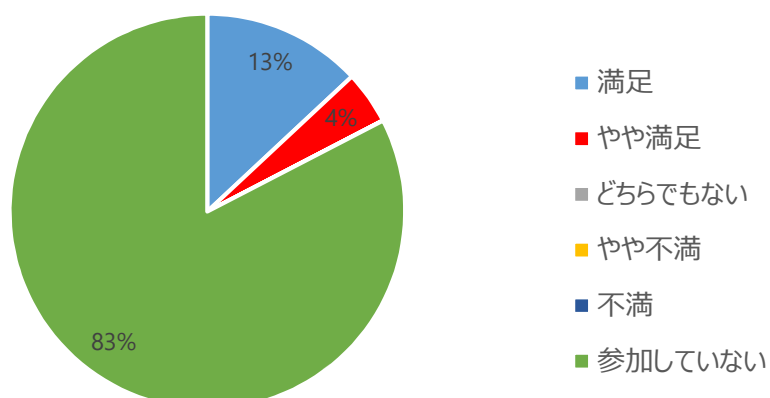
問2-1 各企画の満足度（展示会）



○いただいたご意見（抜粋）

説明か案内をしてほしい。
ゆっくり見て交流しにくい雰囲気だった。市の方々から紹介やリードがあれば…。
ちゃんと見られなかった。
各団体アピールしていた。私の団体ももっと活動的に展示すればよかった。

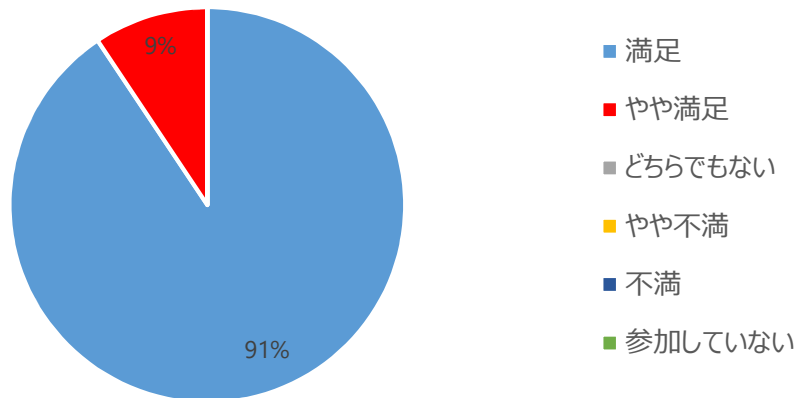
問2-2 各企画の満足度（相談会）



○いただいたご意見（抜粋）

アウトプット・インプットの大切さがわかった。

問2-3 各企画の満足度（講座）



○いただいたご意見（抜粋）

勉強になりました。人のストーリーに着目した。

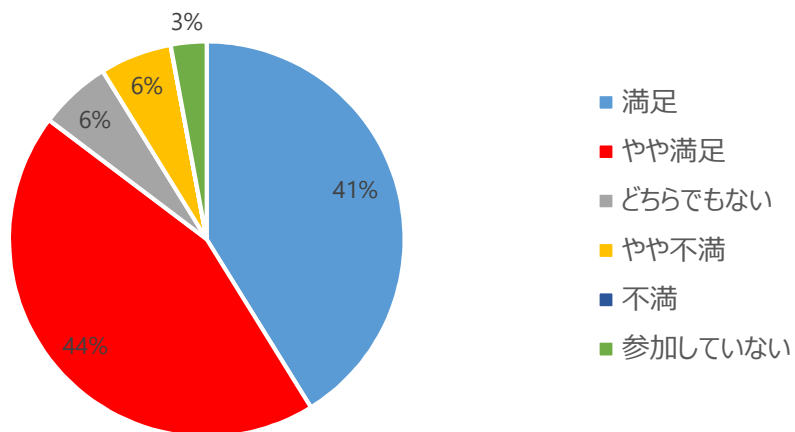
木藤さんのお話、大変興味深いです。まちぶらコーディネーターになってほしい。

他の地域でのやったことを確認できた。

めちゃくちゃ面白かった

パワポ勉強になりました。

問2-4 各企画の満足度（ワークショップ）



○いただいたご意見（抜粋）

時間が足りない。もっと話したかったです。

楽しいお話が聞けて良かった。

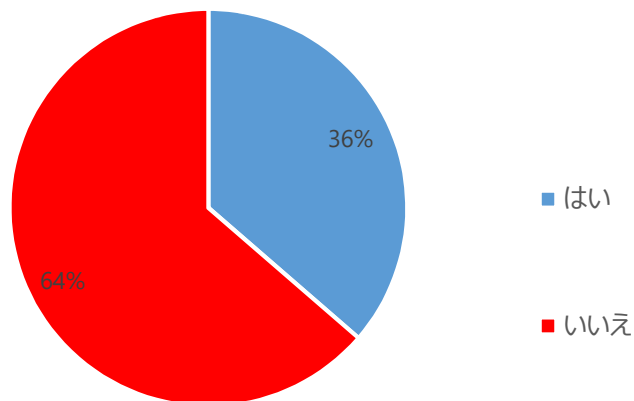
いろいろな意見を聞いた。

もう少し時間をとってもよかったと思います。

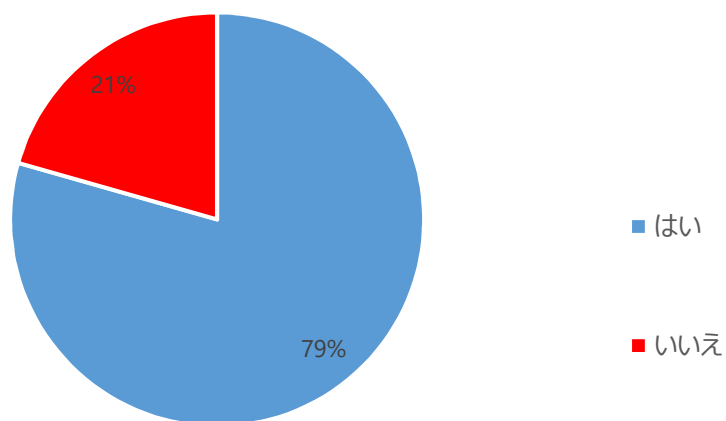
いろいろな地域の方が集まって話す。それだけでもとても大切なことです。

各テーブルの具体的なアイデアや意見をもっと知りたかった。

問3-1 まちぶらプロジェクトの認定事業者か



問3-2 まちぶらプロジェクトを知っているか



問 3-3 まちぶらプロジェクト全般に関するアイデア・意見・要望等（抜粋）

まちぶら連絡協議会の設立。
エリアをまちなか軸以外にも広げてほしい。
オンライン（メタバース）プロジェクトのサポート。
本日のようなワークショップを気軽に開催してほしいです。
出島を入れてください。
今回のような集会（ワークショップ）を定期的に行っていただきたい。
どこでも車いす・ベビーカーを実現させて！
まちづくりは人づくり 長崎市行政職員の熱さに感動しています。地域住民の熱さにも感動しました。
長崎市の封筒は不要。環境に配慮を。（必要な人がとれるようにしておけばいい）
周辺の町も入れてほしい。

まちぶら NEXT 交流会 アンケート

1 交流会の全体の満足度（選択式）

①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満 ⑥参加していない

（理由： ）

2 各企画の満足度（選択式）

（１）展示会

①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満 ⑥参加していない

（理由： ）

（２）相談会

①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満 ⑥参加していない

（理由： ）

（３）講座

①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満 ⑥参加していない

（理由： ）

（４）ワークショップ

①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満 ⑥参加していない

（理由： ）

3 まちぶらプロジェクトについて

（１）まちぶらプロジェクト認定事業者ですか？（選択式）

①はい ②いいえ

（２）これまで、まちぶらプロジェクトの存在を知っていましたか？（選択式）

①はい ②いいえ

（３）まちぶらプロジェクトに全般に関するアイデア・意見・要望等（自由記述）

7. まちぶら NEXT 交流会の資料

7-1 参加者募集チラシ



●概要

まちなかエリアで切れ目なく賑わいを創出していく方策について官民連携して検討していくため、創造的な交流イベントを開催します！

●プログラム

【第1部／16:30～18:00】展示会&相談会
希望する各団体の活動内容についてパネルや資料などを展示します。また、予約制でゲスト講師を交えての「活動に関する相談会（1組30分程度、数組限定）」を行います。
【第2部／18:00～20:00】講座&ワークショップ
全国で活躍するゲスト講師による講座、まちぶらプロジェクトの今後に向けたワークショップなどを行います。

●定員

展示会…どなた様でも自由に見学いただけます。
相談会…先着数団体限定（1団体2名まで）
講座&ワークショップ…先着40名（1団体2名まで）

●申し込み方法

別紙の参加申込書に記載のうえ、主催者あてにメールかFAXで送信ください。

※締切は令和5年10月13日（金）17時

●ゲスト講師

木藤 亮太氏
株式会社ホーホウ代表取締役。宮崎県日南市油津商店街の再生に取組み、約4年で25を超える新規出店等を実現。
山下 裕子氏
ひと・ネットワーククリエイター／広場ニスト。様々な地域のまちなか広場づくりに地元の伴走者的立ち位置で活動中。



●会場案内図



●主催・問い合わせ先

長崎市 まちづくり部 まちなか事業推進室
電話：095-829-1178 FAX: 095-829-1175
メール：machinaka@city.nagasaki.lg.jp